復興を歩む

鳳で、新年会を兼ねたお別れ会を開 に、東山温泉(会津若松市)の御宿東 月末をもつて解散します。1 れからのことを語らいました。 き、会員ら31人が、これまでのこと、こ 松川雇用促進住宅の自治会が、3 月 21 日

に駆けつけた人もありました。 た。便りを受けて、県外からお別れ会 団体に礼状を送り、解散を伝えまし 援を寄せてくださった県内外の個人・ 別れ会を前に、これまで自治会に支 時を振り返ります。菅野会長は、お 期間が必要だと考えてのこと」と当 すべきとの思いもあった。心の準備に 戸数も減少する中、時期を見て解散 高齢者の気持ちを大事にした。入居 いられない。帰りたい、帰ろうという 根・松塚)は、「いつまでも避難者では 決めていました。菅野敬自治会長(関 同自治会は、約1年前から解散を

切り拓いていこうという解散。先陣を 長も招かれ、「人生を自分たちの力で お別れ会の会食の席には、菅野村

切っていただいた」とあいさつし、住民

の決断に思いを寄せました。

後も互いを支えていきます 興住宅ができるまで残るけど、先に帰 さない。また会える」「私は村内の復 の支援者を訪ね、皆で感謝を伝えて に励み、近年は研修旅行の折に、県外 る人の所に遊びに行く」。この絆が、今 きました。「帰村してもこの絆は絶や た。常に声を掛け合い、手仕事や体操 上の日々を過ごしてきた」と語りまし 参加者は異口同音に「家族・親戚以

ア(分かち合い)」を大切に復興を進 の方部別に6あり、自治会を解散す かに前進を続けられるよう、「心のシェ 互いの歩み方を受け入れ、皆がゆるや さがある」とたとえられます。村は、 すには、もう一度避難をする位の大変 るのは松川雇用促進住宅が初めてで 宅・公的宿舎等に12、借り上げ住宅 年度からの施策に活かしていきます。 で、そうした声を広く聞き取り、次 れました。村は、自治会懇談会など 体操教室を続けたいなど要望も聞か めていきたいと考えています。 ′。避難から6年。「次の一歩を踏み出 避難先の自治会は、現在、仮設住 早期に帰村する人からは、村でも

